

## 日本の伝統文化

### ～伝統的しぐさの妙・相手を想う～

校長 森 勝義

8月10日になりました。2学期が始まって3週目。いつもの活気あふれる教室が戻ってきたと思います。7月27日、8月3日の学校の様子を注視していますと、子ども同士本当に笑顔で再会を喜び、お互いに気遣っている光景が学校中に溢れていました。また、多くの新しいお友達が増え、情報交換やお話に夢中になったことと思います。あるクラスの転入生は、担任の先生が掲げている名前タグに目が点になっていたり、カフェテリアでみんなといただく昼食に頬を膨らませながら楽しそうに食事をしていました。

私自身そのような光景を目にすると、「なんてインディアナ日本語学校の子たちって優しいんだろう。その子たちの背中に見えるご両親の愛情をたくさん受けているんだな。」と思うと、つい目頭がうるんでしまいます。担任の先生たちも楽しそうに談笑しているカフェテリアのあの空気感、大好きです。

先週の8月3日の朝も私自身、大好きなシーンがありました。転入生18名に対して各担任の先生やクラスの子たちがお出迎えをしてくれていたことです。日本からインディにきたたくさんの不安やストレスを抱えている子たちを笑顔で迎え、教室まで案内する児童生徒、先生方を見ると、誇りに思います。とっても素敵な光景です。ぜひ、これからもよろしくお願いします。

園児児童生徒の皆さんに、ぜひ、実践してほしいことがあります。

### 日本の伝統文化

「傘かしげ」：これは雨の日、傘をさして狭い道を歩いていると向こうから人がやってきて行違う、そんなときに相手にしずくが落ちないように傘を傾けるというしぐさです。

「肩引ひき」：これは道で人とすれ違う時、外側の肩を引き寄せてからだを斜めにしてすれ違うことです。

「七三の道」：これは道の真中を歩かず、端の3割を歩いて、残り7割は他の人のために道を空けておくことです。

「うかつあやまり」：こちらに非がなくても「こちらがうかつでした」と謝ることでその場の雰囲気をよく保つことです。

「おはようにはおはよう」：これは挨拶されたら挨拶、あいさつをかえすということです。

「陰徳善事いんとくぜんじ」：これは人が見ていなくても、善行おこないをしましょうということです。

たとえばごみが落ちていたら拾ってごみ箱に捨てるとか、こうした陰徳を積んでいけば、いつかは誰かが気づき、評価につながります。同時に自分の人間性が高まっていくことです。

日本の伝統文化って素晴らしいです。粋な日本人を目指したいものです。

お知らせ

川柳・短歌・俳句を募集します。受付横の案内板をご覧ください。

### 「夏休みの思い出」

4年1組 堀友 優衣

わたしは、夏休みに一時帰国しました。日本に行っているいろんな事を体けんしました。わたしが体けんした一部をしょうかいします。

まず、日本のかき氷を初めて食べた事です。わたしが注文したかき氷はあまおういちごでした。とってもふわふわしていていちごの味がすごくしておいしかったです。

次はおもちゃ美じゅつ館に行った事です。おもちゃ美じゅつ館は香川県の高松市にあります。その日は友達と行きました。いろんなおもちゃがいっぱいありました。とくに楽しかったのはひもを使ったこまです。こまにひもをぐるぐるまいてそのひもの先を取ってなげます。楽しかったけれどうまく回す事はとってもむずかしかったです。

### 「楽しかった夏休み」

4年1組 赤木 碧海

わたしが、夏休みに楽しかったことは、家族で、ウォータースライダーのあるプールに行ったことです。ウォータースライダーにいった時は、わくわくしていました。なぜかというと、ウォータースライダーに行くのがひさしぶりだからです。

一番楽しかったのは、2人のりのスライダーです。2人のりのうきわですべたし、スピードが速かったからです。その中は、真っ暗でこわかったけど、楽しかったのであまり気にならなかったです。一番こわかったのは、一人のりのスライダーです。真っ暗だし、いつおちるか分からなかったし、おちた時のプールがものすごく深かったのでこわかったです。それにそのプールは、わたしのお父さんでも足がつかないと言っていたのでびっくりしました。またこのプールに行きたいです。乗れなかったスライダーもまた乗ってみたいです。

### 「夏休みの出来事」

6年2組 久保田沙羅

私は、この夏休みにグランドティトン国立公園とイエローストーン国立公園に1週間かけて車で行きました。グランドティトン国立公園内にある、ジャクソン・レイク・ロッジという名前のホテルに着いたのは、2日目の夕方でした。ホテルを探検した後。プールに入りました。3日目は、グランドティトンにあるジェニーレイク湖に行きました。湖の上にあるロッキー山脈の山々が、水面に反射して輝いていました。4日目は、ホットスプリングに行きました。大小さまざまなホットスプリングがありました。その内の一つは、湖のような円形で外側が茶色→オレンジ色、中心に埋まっていくと、黄色→緑→深緑になり、深い所は濃い青に見えました。

二つの公園に言ったり来たりしているうちに、たくさんの山を見ました。私は山が多くある長野県に住んでいたの、今回の旅行で長野県に帰ったような気分になりました。



ヒゲ森の言葉の森・探検



ふしやく しんみよう

## 不借身命

我が身をかえりみず、命がけで物事にあたるこ

と。「不借」は惜しまない意。本来は仏道を修めるためには自らの身命も顧みないということ。

**我々は今だけ耐え忍べばよい。過去はもうないし、未来はまだないのだから。**

アラン

1868年～1951年 フランスの哲学者

つらい過去は今では思い出。先のことは幻影。だからこの瞬間だけに専念すればいい。